



若草園を支える会 会報 後援会だより

平成28年(2016)11月4日発行 第28号
事務局：社会福祉法人 栄光会 若草園 内
〒787-0155 高知県四万十市下田2 2 1 1
Tel (0880)33-0247/Fax 33-0518
ホームページ⇒ <http://wakakusaen.holy.jp/>
発行：林 博 編集：事務局（寺田）



取引口座 郵便局 01610-5-9632 社会福祉法人 栄光会 若草園
幡多信 下田支店(普) 0083497 「若草園を支える会」会長 林 博

「機関紙『わかくさ』第38号」を同封しています。



◆ 第2回役員会が開かれました

9月15日 若草園地域交流多目的ホールにて支える会役員会が開かれました。

1 活動報告

・今年度は林会長の新任のご挨拶も兼ねて幡多郡内各市町村校長会へ訪問したほか、福祉施設でも広報活動を行いました。山崎前会長のご協力も頂きました。

2 支援活動経過報告

・今年度の支援件数は9月現在まだ上がっていません。お正月に昨年に引き続き、在園児にお年玉をプレゼントする予定です。

3 今年度会計収支中間報告

4 今後の運営について

・昨年度より様々なご意見をいただきましたが、しばらく従来の方で続けることになりました。会報のお届け期間、年度更新時期の見直しや会報発行部数の少量化については、現状を踏まえつつ今後引き続き再考されることになりました。

5 社会福祉法人への寄付について

6 卒園児、在園児への支援内容の検討

・奨学金制度を設け、卒園後の一定期間、卒園児に支援金を給付することが決定されました。次回役員会で具体的な内容を再検討し、年度末から運用できるよう整備を急ぎます。



◆ 発送ボランティアを募集しています




機関誌『わかくさ』と『後援会だより』は現在、高知保護観察所の社会貢献活動によって発送されております。

若草園を支える会ボランティア制度も呼びかけをしておりましたが、取り組み内容が不明確だった事もあり定着しませんでした。発送作業は年4回午前中で済む単純作業ですので会員の皆さまの参加を募集いたします。

興味のある方は事務局瀬戸までお問い合わせ下さい。

* 写真は日本更生保護協会発行の機関紙『更生保護』3月号に掲載された発送ボランティアの記事です。

**児童養護施設及び市役所における
社会貢献活動について**



整理した使用済み切手の
呈呈式

高知 幡東保護区保護司会保護司
山崎 榮恵

一 はじめに
幡東保護区では、社会貢献活動として、福祉施設での介護補助(食事の補助等)、児童養護施設での機関紙等の発送作業、J.R.無人駅における清掃作業、市役所における使用済み切手の整理活動など、様々な活動を開拓してきました。ここでは、児童養護施設と市役所における社会貢献活動について紹介します。

二 児童養護施設での機関紙等の発送作業
この活動は、もともと更生保護女性会活動の一環として、年に4回、児童養護施設が発行する機関紙を封筒に入れたり、封筒に切手





会員の声
をご紹介します

皆さまの声をお聞
かせください。
会報・機関紙の送付
が不要になった方
やお届け先の変更
などもお気軽にど
うぞ



☒事務局直通メール
wakakusaenjimu
@dream.ocn.ne.jp

(若草園を支える会副会長 野地ちえみ)

かれこれ5年前くらいのことでしょうか、当時関わりのあった民生委員さんからお話をいただき、支える会に入会しました。

若草園は何か事情があって家庭生活が困難な子ども達が暮らす場所とは知っていましたが、後に民生委員児童部会で活動するまで実際に訪問することもありませんでした。初めて訪問した時には既に小舎制に改築され、生活空間がきれいに保たれ、明るい印象を受けました。その後、ガーデンパーティーで実際に園の子どもに会ったのですが、地元から参加した子どもに交じって元気に遊んでいたのが園児か分からないほど地域に溶け込んでいると感じたのを覚えています。

私は、昨年度末から、臨時職員として児童家庭支援センターわかぐさに勤務しています。直接園児と接する部署ではありませんが、以前より近い位置から園児の生活を見、小舎制・家庭的養育の中で、それぞれの子どもの年齢に応じ、個性を尊重して生活を営んでいる様子がよく分かります。職員もそれぞれの持ち場でチームワークを大切にしながら子ども達に接しているなど感じます。今後も色々な意味で子ども達にとって、職員にとって、ゆとりを持った園での生活が続けられたらいいなと思います。

栄光会ではアフターケア事業があり担当職員は東奔西走して卒園児の生活を支援しています。卒園児にとっては社会に出てからも、こんな風に、誰かがしっかりと自分を信じ、見守ってくれている…という安心感が何より大切なのではないかと思います。

支える会の一員として、この会が、園で生活している、そして、生活してきたすべての子ども達が本当に求めているものは何なのか、職員と連携しながら、そして子ども達からも意見を聞きながら模索し、実際的に役に立てる会であったら嬉しいと思います。

今後も微力ながら、自分の何かが誰かの力になるよう生きていきたいと思っています。

平成28年度会員数は年10月31日現在 660名
いただいた会費は 955,000円です。

☆ たくさんの皆さまのご支援に心から御礼申し上げます ☆

「若草園を支える会」は、県西部の児童福祉の中核をなす若草園で育つ子どもたちや、社会の中で様々な困難に直面している卒園児たちの健やかな成長と安心した暮らしを願い設立されました。趣旨に賛同していただける皆さまに、1口千円からの年会費による支援をお願いしています。会員様には会報や機関紙、若草園の行事案内などを3年間お届けいたします。

* 所得税法に定められた社会福祉法人に対する寄付金控除を受けられる方はお手数をおかけしますが、事務局までご一報ください。当会会費としては扱われませんが、若草園運営のためのご寄付に振替えさせていただきます。

